

各位

上場会社名 株式会社 テイン
 代表者 代表取締役社長 市野 諒
 (コード番号 7217)
 問合せ先責任者 取締役 那須 賢司
 (TEL 045-810-5511)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月13日に公表した業績予想および配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,772	506	525	361	69.67
今回修正予想(B)	4,196	386	326	204	39.30
増減額(B-A)	△575	△120	△199	△157	
増減率(%)	△12.1	△23.8	△37.9	△43.6	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	4,148	226	203	124	23.99

修正の理由

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、所得や雇用環境の改善などにより緩やかな回復基調で推移しましたが、自然災害による景気の下押し圧力や、他方、海外では中国を始めとする新興国での経済動向や政情不安、英国の欧州連合(EU)離脱問題等による為替相場や株式市場の変動などから、景気の先行きは予断を許さない状況にあります。

当社の属するカーアフターマーケットにおきましては、このような安定感を欠く景気動向を背景として低価格志向は依然として強い中で高額品への購買意欲の増加もあり、消費に力強さが見られました。

このような情勢のもと、当社グループにおきましては、主力製品の「FLEX A」および「FLEX Z」の販売強化に努めてまいりました。また国内海外の各地域における特性に適した各種多様な販売キャンペーンも継続的におこないました。

しかしながら、中国における生産拠点の稼働が本格化した一方、国内生産拠点の増産体制の整備において予定より遅れが生じ供給が追い付いておりません。現在この体制整備に全力で取り組んでおりますが、引き続き品質の確保を最優先としていることから解消までには一定の時間を要することと合わせて、第1四半期における販売機会損失による売上高および利益の未達成分が通期の及ぼす影響が大きいと考えられるため、通期の連結売上高、および営業利益、経常利益ならびに親会社株主に帰属する当期純利益について、平成28年5月13日に公表した予想数値を下回る見通しとなりました。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成28年5月13日発表)	—	0.00	—	15.00	15.00
今回修正予想	—	0.00	—	12.00	12.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成28年3月期)	—	0.00	—	12.00	12.00

修正の理由

当社は、収益力の向上を図り、株主の皆様へ利益還元をすることが経営の最重要課題の一つであると考えております。利益配当については年1回期末に配分することとし、各期の連結業績、配当性向および内部留保等を総合的に勘案した上で、継続的かつ安定的な配当をおこなうことを基本方針としております。

「業績予想の修正について」で記載いたしましたとおり、損益について前回発表の予想数値を下回ることとなりましたが、期末配当金の予想については前述のとおり各期の連結業績、配当性向および内部留保等を総合的に勘案していることから上表のとおり修正いたします。

以上